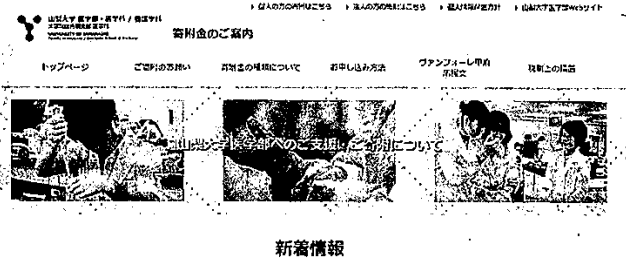


研究費サイトで寄付募る

山梨大医学部 交付金減に対応



新着情報

研究費の寄付を募る山梨大のサイト

一方、医学部の教育現場で

は不安定だ」と説明する。

一方、医学部の教育現場で

研究費の寄付を募る山梨大の

サイト

求む、研究費。食物アレルギーやがん治療などの研究費を確保するため、山梨大医学部(中尾篤人学部長は3日までに、寄付金を募る専用サイトを開設した。同大によると、国の運営費交付金が13年で約9億円削減され、研究や教育に充てる費用が減ったことに伴う対応。寄付サイトで外部資金を募り、教育環境の維持と充実を目指す。

〈土屋圭佑〉

同大によると、昨年度の一般運営費交付金は約83億円で、2004年度の約92億円から約9億円削減された。大学全体の運営資金が減った影響で、医学部の研究予算も約1割減ったという。

医学部は国の研究費助成など外部資金の獲得を狙うが、中尾学部長は「多くは1、2年の短期的な研究テーマに与えられる。長期的な視野に立った研究や教育の財源としては不安定だ」と説明する。

は、模範的な実習ができるシミュレーション教育などが普及し、高額な機器の購入が必要になっている。「現状では十分な予算を確保できない」(中尾学部長)として、寄付金を募ることになった。

大学への寄付はこれまで、窓口で申請書に記入する必要があるが、手続きが煩雑だった。そのため「法人が99%

を占め、個人の申し込みはほとんどなかった(同学部)という。インターネットでの申し込み、クレジットカードやコンビニでの支払いを可能にするなど手続きを簡素化し、個人寄付の増加を期待する。

個人は1口5千円、法人は同1万円から受け付けている。寄付金は病気治療の研究

若手研究者への支援などへの活用を想定している。一定額以上を寄付した個人、法人は研究者が相談に応じる会合に参加できるなどの特典がある。

中尾学部長は「研究、教育環境は厳しさを増している。財源確保のため、多くの人に協力してほしい」と話している。